

世界農業遺産

globally important Agricultural Heritage Systems

クヌギ林とため池がつなぐ

国東半島・宇佐の農林水産循環



国東半島宇佐地域
世界農業遺産
Kansai Peninsula Utsu GHIS

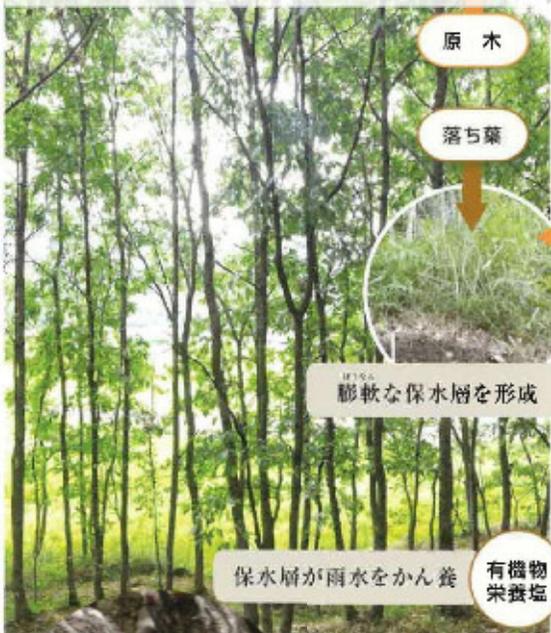
しいたけ栽培のほど木に利用するクヌギは、約15年のサイクルで伐採・萌芽・再生を繰り返し、クヌギ林が維持される。クヌギ林は雨水を蓄え、そこから有機物を含んだ湧水をいくつものため池に溜めて、農業に利用する。

豊かな自然・産業を育むクヌギ林

高品質な乾しいたけを生産

しいたけ原木の供給 膨軟な土壌による保水
安定した湧水の維持 地域景観の形成

クヌギの循環システム



複数のため池を連携させた用水供給システム
約1200のため池群

水の循環システム



水田農業



地域内には、15世紀からほとんどそのままの姿で現在に伝わる農村景観もある(左)。シチトウイは、い草より強健で耐久性に優れた畳表の材料で、現在は国東半島地域が国内唯一の産地(右)。

ため池をつないだ用水供給システム



複数のため池をつないで農業用水を供給するシステムは、貴重な水を効率的に利用する雨の少ない半島ならではの知恵から生まれたもの。

森の恵み
しいたけの故郷
「木が食料を生む」



- ① 豊後高田市
- ② 杵築市
- ③ 宇佐市
- ④ 国東市
- ⑤ 姫島村
- ⑥ 日出町

育まれる生物多様性・文化

